
酪農学園大学社会連携センター

2024年度 事業報告

2025年5月1日発行

社会連携センター 2024年度事業報告

目次

I. 社会連携センター

1. ホームページアクセス状況		5
-----------------	-------	---

II. 地域連携課

1. 公開講座

1-1 酪農学園大学市民公開講座		8
1-2 小・中・高校生向け体験講座		9
1-2 小・中・高校生向け体験講座／参加者・学年別の内訳		10
1-3 大動物継続教育合同セミナー		11

2. 協力講座

2-1 元気！ミルク大学		13-14
2-2 えべつ市民環境講座		15
2-3 ふるさと江別塾		15

3. 地域総合交流事業

3-1 協定一覧		17
3-2 高大連携協定一覧および講義・講座		18-19
3-3 コープさっぽろ		20
3-4 イオン江別店 酪農学園フェア&えべつ産品フェア		21-22
3-5 公益財団法人草野河畔林トラスト財団		23
3-6 公益財団法人草野河畔林トラスト財団		23
3-7 公益財団法人草野河畔林トラスト財団		23
3-8 江別市 江別ホルスタインショウ		23
3-9 公益財団法人草野河畔林トラスト財団		23
3-10 動物愛護フェスティバル in えべつ2024		24
3-11 江別市 えべつ健康フェスタ2024		24
3-12 北海道ワンヘルスフェア2024		24
3-13 浜頓別町		25
3-14 Fビレッジと愉快的仲間たち		25
3-15 江別市 2024アグリビジネス創出フェア in Hokkaido		25
3-16 北海道酪農技術セミナー2024		26
3-17 株式会社クボタ		26
3-18 江別市 令和6年度 江別未来づくり学生コンペティション		27

4. ミルク産業活性化推進事業

4-1 普及啓発活動		29
------------	-------	----

5. 協定機関以外との連携

5-1 共進会		31
---------	-------	----

社会連携センター 2024年度事業報告

目次

5-2 旭川ガス		32
5-3 岩見沢豊中学校の見学		32
6. 酪農PLUS+		
6-1 アクセス状況		34
6-2 ページ別閲覧数		35
Ⅲ. 国際交流課		
1. 学術国際交流・協力		
1-1 学術交流協定		38-39
1-2 学術交流協定の更新、締結		40
1-3 フィンドレー大学ベケット奨学金派遣プログラム20周年記念 Re-unionの実施		41
1-4 学生の受入れ		42-43
2. 外国人研究員等の受入		
2-1 訪問者の受入れ		45-46
3. 学生の海外派遣		
3-1 学生の派遣		48
3-2 学生留学報告書(国際交流課ホームページ掲載分)		48-49
3-3 TOEIC-IP試験		50-51
4. 外国人留学生		
4-1 外国人留学生		53
5. 北海道アルバータ酪農科学技術交流協会		
5-1 2024年理事会・定期総会		55
5-2 2024年度佐藤貢・雪印乳業-酪農学園・アルバータ大学 奨学金プログラム		55
5-3 アルバータ州肉牛農家Jacob Bueckert氏ご訪問		56
5-4 アルバータ州政府からゲストをお迎えしました		56
5-5 アルバータ州を訪問しました		57
6. その他		
6-1 独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携		59
6-2 海外協力隊に関する大学連携		59-60
6-3 研修員受け入れ		61
6-4 青年海外協力隊派遣実績(2024年12月現在)		61
6-5 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度		62

I．社会連携センター

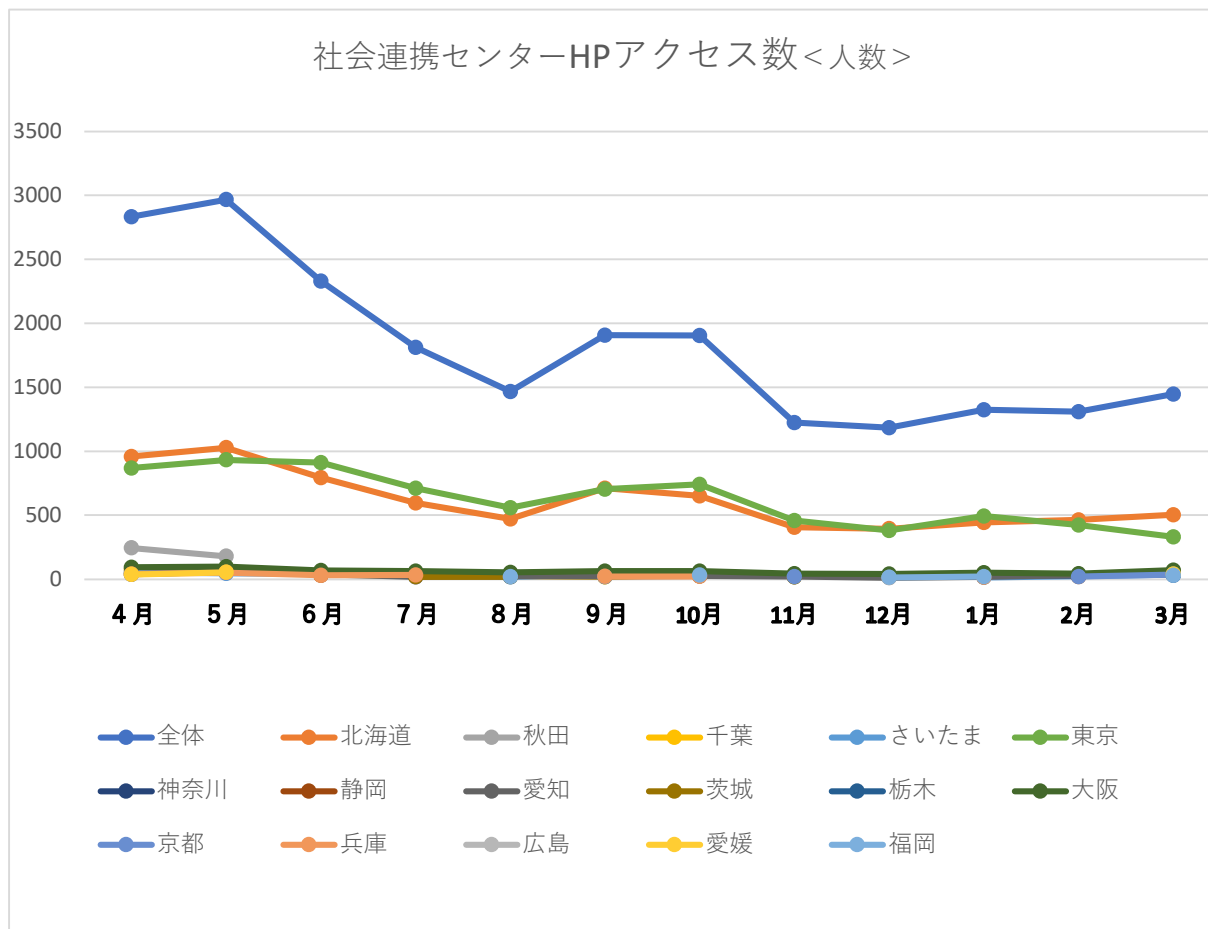
1.ホームページアクセス状況

※GoogleAnalyticsではすべてのユーザーの属性、環境などを判別することができないため、各項目の合計値は総アクセス数とは一致しない。

アクセス状況

総アクセス数 21,709人（前年度28,300人/前年度比－6591人）

北海道のユーザー数が、約3000名減少している。



Ⅱ. 地域連携課

1. 公開講座

1-1 酪農学園大学市民公開講座

本学の研究成果を、知的財産の提供や卒後教育に役立てていただくことを目的として、「市民公開講座」を開催しています。

受講者数： 520 名
オンライン視聴回数： 129 回

開催日	講座名	講師	受講料	定員	受講者
5/11(土)	野生動物講座「クマはなぜ都市にあらわれるのか？人口減少時代の自然との向き合い方」	環境共生学類 教授 佐藤嘉和	1,000円	50 名	26 名
5/19(日)	食育講座「牛乳を料理に使おう！乳和食でミルクマジック」	循環農学類 講師 宮崎早花	1,000 円	30 名	19 名
7/27(土)	楽しい理科実験講座「生物化石から太古の時代がわかる」	環境共生学類 講師 千葉嵩	1,000 円	30 名	10 名
9/21(土)	(学) 八紘学園 北海道農業専門学校 リンゴ収穫体験	八紘学園	3,500円／組	10組	30名・9組
5月25日(土)	犬のしつけ教室(前期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	15 名
6月1日(土)	犬のしつけ教室(前期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	15 名
6月8日(土)	犬のしつけ教室(前期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	15 名
6月15日(土)	犬のしつけ教室(前期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	15 名
6月29日(土)	犬のしつけ教室(前期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	15 名
10月19日(土)	犬のしつけ教室(後期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	24 名
11月2日(土)	犬のしつけ教室(後期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	24 名
11月9日(土)	犬のしつけ教室(後期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	24 名
11月16日(土)	犬のしつけ教室(後期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	24 名
11月30日(土)	犬のしつけ教室(後期)	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	15,000円(5回分)	25組	24 名

オンライン講座	講座名	講師	受講料	定員	視聴回数
5月15日(水)～ 6月30日(日)	酪農・牛乳に関する講座①「エサから考える国内酪農」	循環農学類 教授 日向貴久	無料	なし	81 回
5月29日(水)～ 6月30日(日)	酪農・牛乳に関する講座②「牛乳からチーズはどうできるのだろうか」	食と健康学類 准教授 栃原孝志	無料	なし	48 回

1-2 小・中・高校生向け体験講座

本学は、これまでほとんど接点のなかった小・中学生を対象に、大学の雰囲気に関心する機会を提供と将来の進路を考える際のきっかけを提供することを目的として「小・中・高校生向け体験講座」を開催しています。

受講者数： 334 名
受講料： 無料

開催日	講座名	講師	対象	受講者
6月15日(土)	犬とふれあうとどんな気持ち？	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀	小学生から高校生および保護者	105 名
6月22日(土)	愛護動物の概要を知り、皆さんの暮らしを豊かにしましょう	獣医学類 教授 浅川満彦	小学生から中学生および保護者	19 名
7月13日(土)	昆虫のからだの構造を学ぼう	環境共生学類 助教 松本圭司	小学5年生から中学3年生のお子様を含む個人またはグループ	9 名
8月1日(木)	江別市の農業を学ぼう	循環農学類 教授 井上誠司	小学4年生から高校生	3 名
8月3日(土)	光の万華鏡を作ろう！	環境共生学類 教授 馬場賢治	小学生および保護者	64 名
8月6日(火)	酪農学園大学キャンパスツアー	循環農学類 教授 中辻浩喜 教授 澤本卓治 教授 三枝俊哉 講師 土井和也 講師 宮崎早花	小学生から高校生	32 名
8月20日(火)	落ち葉を利用して植物を元気に育てよう	循環農学類 教授 森志郎 教授 小八重善裕	小学4年生から高校生	10 名
8月22日(木)	チャレンジらくのうクイズ	循環農学類 教授 吉野宣彦	中学生から高校生	5 名
8月24日(土)	獣医学生が使うシミュレーターでリアルな獣医師体験をしよう	獣医学類 准教授 伊丹貴晴 准教授 都築直 准教授 華園究	中学生および保護者	25 名
9月7日(土)	スイーツサイエンス：お菓子作りと食品科学の奥深い世界	食と健康学類 講師 小泉次郎	中学生から高校生および保護者	12 名
10月26日(土)	野生動物獣医学が目指すもの－新興感染症対策と法獣医学	獣医学類 教授 浅川満彦	小学生から中学生および保護者	23 名
11月9日(土)	医動物学って知っていますか？	獣医学類 教授 浅川満彦	小学生から中学生および保護者	27 名

1-2 小・中・高校生向け体験講座

【参加者の内訳】

開催日	講座名	小学生低学年 (1～3年)	小学生高学年 (4～6年)	中学生	高校生	保護者	合計
6月15日(土)	犬とふれあうとどんな気持ち？	24	26	16	1	38	105
6月22日(土)	愛護動物の概要を知り、皆さんの暮らしを豊かにしましょう	1	6	5	0	7	19
7月13日(土)	昆虫のからだの構造を学ぼう	0	5	1	0	3	9
8月1日(木)	江別市の農業を学ぼう	0	0	2	0	1	3
8月3日(土)	光の万華鏡を作ろう！	25	12	1	0	26	64
8月6日(火)	酪農学園大学キャンパスツアー	4	6	8	2	12	32
8月20日(火)	落ち葉を利用して植物を元気に育てよう	1	4	3	0	2	10
8月22日(木)	チャレンジらくのうクイズ	1	1	1	0	2	5
8月24日(土)	獣医学生が使うシミュレーターでリアルな獣医師体験をしよう	0	0	14	0	11	25
9月7日(土)	スイーツサイエンス:お菓子作りと食品科学の奥深い世界	1	1	5	1	4	12
10月26日(土)	野生動物獣医学が目指すものー新興感染症対策と法獣医学	4	6	5	1	7	23
11月9日(土)	医動物学って知っていますか？	3	8	7	0	9	27
合 計		64	75	68	5	122	334

【学年別の内訳】

No	講座名	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	保護者
1	犬とふれあうとどんな気持ち？	8	10	6	10	10	6	4	10	2	0	1	0	38
2	愛護動物の概要を知り、皆さんの暮らしを豊かにしましょう	0	0	1	2	2	2	3	2	0	0	0	0	7
3	昆虫のからだの構造を学ぼう	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	3
4	江別市の農業を学ぼう	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
5	光の万華鏡を作ろう！	7	9	9	4	6	2	0	1	0	0	0	0	26
6	酪農学園大学キャンパスツアー	2	0	2	2	0	4	2	2	4	2	0	0	12
7	落ち葉を利用して植物を元気に育てよう	0	1	0	4	0	0	2	1	0	0	0	0	2
8	チャレンジらくのうクイズ	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
9	獣医学生が使うシミュレーターでリアルな獣医師体験をしよう	0	0	0	0	0	0	6	5	3	0	0	0	11
10	スイーツサイエンス:お菓子作りと食品科学の奥深い世界	0	0	1	0	0	1	1	3	1	0	1	0	4
11	野生動物獣医学が目指すものー新興感染症対策と法獣医学	3	1	0	1	4	1	0	2	3	0	0	1	7
12	医動物学って知っていますか？	2	1	0	1	6	1	3	2	2	0	0	0	9
合 計		22	22	20	25	31	19	23	28	17	2	2	1	122

1-3 大動物継続教育合同セミナー

大動物臨床研究会との合同企画で、卒後臨床教育事業の一環として、獣医師、学生、関連企業を対象に、1日目に大動物臨床研究会主催の「大動物臨床研究会特別セミナー」を、2日目に「大動物臨床教育セミナー」を開催しています。

参加人数： 111 名(2日間合計)

開催日	プログラム		講演	講師
5月10日(金)	第16回大動物臨床研究会特別セミナー テーマ:「酪農畜産の現状と将来」			
	12:30	受付開始		
	13:00	開会挨拶		酪農学園大学 社会連携センター長 萩原克郎
		総合司会・座長		酪農学園大学 獣医学群 獣医学類教授 中田健
	13:10	基調講演	「酪農の現状と将来展望～持続的酪農に向けて考えるべき3つの「環境」～」	酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授 日向貴久
	14:10	講演	「酪農畜産におけるドローンの現状と展望～動物モニタリングにおけるドローン利活用の事例紹介～」	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 准教授 小川健太
	15:20	講演	「家畜ふん尿管理のためのバイオガスプラントの現状と課題」	酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 准教授 石川志保
	15:20	協賛企業・情報提供		
	16:00	総合討論		
	17:30	閉会挨拶		酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授 菊佳男
5月11日(土)	第28回大動物臨床研究会特別セミナー テーマ:「乳牛の分娩管理を考える」			
	9:00	受付開始		
	9:20	開会挨拶		酪農学園大学 副学長 樋口豪紀
		総合司会・座長		NOSAI北海道いぶり東部家畜診療所 所長補佐 七尾祐樹
	9:30	基調講演	「牛における分娩管理～牛の分娩生理と母子管理～」	鹿児島大学 共同獣医学部 獣医学科 准教授 安藤貴朗
	11:00	講演	「乳牛における子宮捻転の重症度診断」	酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 助教 村上高志
	12:30	総合討論		
	13:00	閉会挨拶		酪農学園大学 副学長 高橋俊彦

2. 協力講座

2-1 元気！ミルク大学

(1)元気！ミルク大学とは

牛乳や乳製品のすばらしさを少しでも多くの皆さんに知ってもらいたいという思いから、北海道内の小学5・6年生を対象に牛乳や酪農について見て触れて体験してもらうイベント事業で、本学の教員や学生たちと一緒に、酪農体験や乳製実習などを行うプログラムです。北海道牛乳普及協会とホクレン農業協同組合連合会が主催するイベントで、20年以上続いています。

(2)開校日： 2024年8月10日(土)～12日(月) 2泊3日

(3)参加人数：32 名

(内訳) 小学5年生：男子(9名)、女子(8名)

小学6年生：男子(7名)、女子(8名)

(4)プログラム

実施日	プログラム	内容	講師
8月10日(土)			
12:00	ホクレンビル集合		
12:45	入学式		
13:00	出発(八紘学園へ)		
14:00～ 17:00	農場実習(八紘学園)		八紘学園 田先生・小玉先生
18:30	バス移動(酪農学園大学へ)		
19:00	夕食		
8月11日(日)			
9:30	座学・調理実習	「さけるチーズを学ぼう！～なぜ、チーズの中に繊維ができるのか？～」	食と健康学類 准教授 柊原孝志
11:10	調理実習	「牛乳寒天+ミルクドリア」	循環農学類 講師 宮崎早花
13:30	座学	「牛の生活やえさ、カラダの構造について」	循環農学類 教授 泉賢一
15:40	座学	「ウシからおいしいミルクができるまで」	循環農学類 講師 土井和也
17:30	卒業パーティー(夕食)		
8月12日(月)			
9:30	座学	「アニマルウェルフェア」	獣医保健看護学類 教授 林英明
10:50	体験発表制作		
13:30	体験発表×卒業式		

(5)主催者事務局からの所感

今年度は例年のリアル開催の内容と比較すると大きな変更点が複数ありました。

【主な変更点】

- ①酪農実習の場所を変更⇒八紘学園様にて実施
- ②生協様にて食事の手配ができない⇒仕出しのケータリングに変更
- ③バーベキューの場所を変更⇒合宿所前駐車場にて実施

※卒業式／当初の予定では中央館を前提としていたが、黒澤記念講堂にて実施

いずれの変更点につきましても、酪農学園大学様および八紘学園様、各協力会社にご尽力をいただき、トラブル等なく終えることができました。

しかしながら、授業を行う教室やバーベキュー会場につきましては、天候・気温によって左右されることから参加者・関係者の体調を考慮し、次年度開催に向けて再度検討・調整いただきたいと思います。

また、酪農学園大学各講師の皆さまには、例年の授業内容から一部変化を加えたり、(1日目)発行学園様での酪農実習を前提とした授業の進め方をしてくださったりと、様々な要望にお応えいただきました。

新たな試みとしては、HTB「イチモニ！」にて、1日目酪農体験の様子を収録および参加者代表2名に生出演いただき、元気！ミルク大学の様子を放送いたしました。しっかりと本事業のテーマや伝えたいことがまとめられており、活動内容・意義を発信できたのではないかと考えます。

事後アンケートには参加者・保護者ともに好意的なご意見が多く、満足度の高さを確認することができました。

2-2 えべつ市民環境講座

江別市では、市民が地球環境・自然環境・生活環境・快適環境などについてかかわりを持ち、一人ひとりが環境に配慮した行動をとることが、これらの環境を守っていくことにつながるという認識に立ち、子どもから大人まで幅広い世代が環境について学べるよう、市民・事業者・行政が連携して取組を進めており、本学に講演の依頼があり、講座を開催しました。

受講者数： 約40 名

開催日	講座名	講師
9月18日(水)	オオカミと共生する草原	農食環境学群 環境共生学類 教授 星野仏方

2-3 ふるさと江別塾

江別市と江別市教育委員会が主催となり、大学の「知」を活かし、まちづくりや身近な問題の学習機会として、市内4大学が連携して「ふるさと江別塾」を開催しています。
第1回目を本学で10月5日に開催しました。

受講者数： 33 名

開催日	講座名	講師
10月5日(土)	災害に困らない動物飼育	獣医学群 獣医保健看護学類 教授 川添敏弘
10月5日(土)	ペットの防災対策について	北海道立動物愛護センター 所長 山中恭史

以上、公開講座では、酪農学園大学市民公開講座、小・中・高校生向け体験講座、大動物継続教育合同セミナー、協力講座あわせて、32講座、41講義を開講し、1,070名に受講・ご参加いただきました。

3. 地域総合交流事業

3-1 協定一覧

2025年4月1日現在

No	協定機関	協定調印日	協定内容
1	浜中町	2005.2.24	地域総合交流
2	栗山町	2007.2.26	地域総合交流
3	西興部村	2007.5.21	地域総合交流
4	公益財団法人道央農業振興公社	2007.10.31	地域総合交流
5	江別市・市内3大学・江別商工会議所	2009.2.5	包括連携
6	江別市・食品加工研究センター	2009.3.10	包括連携
7	北海道大学	2009.6.4	知財等連携
8	洞爺湖町	2009.7.29	地域総合交流
9	公益財団法人北海道農業公社	2010.1.14	包括連携
10	北海道ホルスタイン農協・公益社団法人北海道酪農検定検査協会・ 一般社団法人ジェネティクス北海道	2010.2.19	包括連携
11	コンパニオン・インターナショナル、NPO法人EnVision、ESRIジャパン株式会社	2010.6.3	包括連携
12	公益財団法人札幌市公園緑化協会	2010.8.18	連携協力
13	滝上町	2010.9.10	地域総合交流
14	北海道情報大学	2011.3.10	大学教育・研究連携
15	標茶町・標茶町農業協同組合・北海道標茶高等学校	2011.4.13	地域総合交流
16	公益財団法人知床財団	2011.6.15	包括連携
17	占冠村	2011.6.6	地域総合交流
18	旭川市(旭山動物園)	2011.9.5	包括連携
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町・オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、 湧別町農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	2012.6.25	地域総合交流
20	株式会社北海道銀行	2012.10.2	包括連携
21	札幌グランドホテル	2012.10.31	包括連携
22	北海道	2014.10.30	包括連携
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津町農業協同組合・計根別農業協同組合・ 北海道中標津農業高等学校	2015.3.16	包括連携
24	北海道科学大学	2015.3.16 (2022年4月1日変更)	包括連携
25	札幌市	2015.7.9	連携協力
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	2016.1.29	連携協力
27	一般財団法人北海道農業協同組合学校	2017.3.16	包括連携
28	北海道ワイン株式会社	2017.9.20	包括連携
29	生活協同組合コープさっぽろ	2017.9.21	包括連携
30	北海道農業共済組合連合会 他5農業共済組合	2019.2.22	包括連携
31	梨湖フーズ株式会社	2019.9.27	包括連携
32	学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校	2020.3.23	包括連携
33	浜頓別町	2021.3.20	地域総合交流
34	JA北海道中央会	2021.4.15	包括連携
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	2021.7.16	包括連携
36	株式会社サングリソ太陽園	2021.7.30	包括連携
37	島根県	2021.11.10	連携協定
38	北海道農政事務所	2022.3.1	包括連携
39	学校法人八紘学園 北海道農業専門学校	2022.8.4	包括連携
40	株式会社菊田食品	2023.5.17	包括連携
41	株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント	2023.8.3	包括連携
42	イオン北海道株式会社	2023.10.17	包括連携
43	長沼町	NEW 2024.4.1	包括連携
44	公益財団法人草野河畔林トラスト財団	NEW 2024.5.16	包括連携
45	環境省北海道地方環境事務所	NEW 2024.6.19	包括連携
46	独立行政法人国際協力機構	NEW 2024.10.3	連携協定
47	石屋製菓株式会社	NEW 2024.12.20	包括連携
48	立教大学	NEW 2025.2.20	連携協定
49	デラバル株式会社	NEW 2025.3.14	包括連携

3-2 高大連携協定一覧および講義・講座

(1) 高大連携協定一覧

2025年4月1日現在

No	協定高校	協定調印日	協定内容
1	北海道清水高等学校	2008.2.18	高大連携事業
2	北海道士幌高等学校	2008.7.31	高大連携事業
3	北海道札幌東高等学校	2009.3.6	高大連携事業
4	札幌市立高等学校9校	2009.3.16	高大連携事業
5	北海道岩見沢農業高等学校	2013.3.25	高大連携事業

(2) 講義・講座

開催日	講義・講座	講 師
10月19日(土)	市立札幌開成中等教育学校「先端科学特論」 「環境・農業分野におけるRS/GIS/GPS技術の応用」	環境共生学類 講師 吉村暢彦
2月8日(土)	市立札幌旭丘高等学校「サイエンスアカデミー」 「野生生物 駆除VS保護」	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀

(3) 探求学習

開催日	講義・講座	講 師
9月11日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
9月18日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 川添敏弘
9月25日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 助教 村上義樹
10月16日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀
10月23日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 能田淳
10月30日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
11月6日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明

(3)探求学習

開催日	講義・講座	講 師
11月20日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
11月27日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
12月4日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
12月11日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
12月18日(水)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
1月16日(木)	札幌月寒高校 探求学習	獣医保健看護学類 教授 林英明
1月29日(木)	札幌月寒高校 BIG ALIVE フェス(校内発表会)	獣医保健看護学類 教授 林英明・川添敏弘

(4)その他

実施日	内容	講 師
4月24日(水)	ニセコ高校出張講義・実習「アスパラガスの促成栽培」	循環農学類 教授 園田高広
5月10日(月)	美幌高校 プロジェクト研究支援	循環農学類 教授 園田高広
6月28日(金)	岩見沢農業高校 出張講義(プロジェクト研究支援)	循環農学類 教授 園田高広
7月3日(水)	ニセコ高校出張講義	循環農学類 教授 園田高広
8月23日(金)	立命館慶祥高校 出張講義	食と健康学類 准教授 柊原孝志
10月2日(水)	札幌市立幌東中学校3年生を対象とした進路探究学習での講演	食と健康学類 講師 柴田啓介
11月6日(水)	ニセコ高校研究支援:ホワイトアスパラガスの講義実習	循環農学類 教授 園田高広
11月30日(土)	清田緑小学校 獣医師お仕事体験	獣医学類 准教授 安藤達哉
12月2日(月)	ニセコ高校研究支援:特別講義(実習)	循環農学類 教授 園田高広
12月11日(水)	札幌厚別高校 課題研究発表審査員	循環農学類 教授 金本吉泰

3-3 コープさっぽろ

コープさっぽろとの連携協定に基づき、本学の理念である健土健民という考え方を多くの方に知っていただくことを目的に、2019年7月から「健土健民牛乳」を販売しています。
現在は、Lucy店、Socia店、平岡店、川下店、野幌店、えべつ店の6店舗で販売しています。

2025年4月1日現在

No	販売店舗	各週販売個数	納品本数
1	Lucy	32 本	1472 本
2	Socia	15 本	690 本
3	平岡	15 本	690 本
4	川下	8 本	368 本
5	野幌	20 本	920 本
6	えべつ	10 本	460 本
合計		100 本	4600 本

3-4 イオン江別店 酪農学園フェア&えべつ産品フェア

イオン北海道との連携協定に基づき、地域の資源循環の取り組みを推進するため、イオン江別店で廃棄するパンを、エコフィードとして豚に与えた肉を販売しました。食品バイオマスの活用に関すること、インターンシップ等、学生との交流に関することなど、緊密な連携を図ることを目的とし、開催されました。

(1)開催日： 2024年12月6日(金)～8日(日) 10:00～18:00 3日間

(2)場 所： イオン江別店(江別市幸町35番地)

(3)イベント内容

①酪農学園大学・とわの森三愛高等学校の商品販売

酪農学園大学	健士健民バター、クリームチーズ、カマンベールチーズ、ゴーダチーズ、酪農アイス(バニラ、チョコ、ストロベリー)、牛のささやき、ベーコン、ソーセージ、短角牛のお肉、豚肉
とわの森三愛高等学校	お米、きびだんご、ポインセチア、シクラメン

②試食実施

家畜生産改良学ゼミおよび中小家畜飼養学ゼミの学生が、商品の特長やおいしさをお客様にお伝えしました。

開催日	イベント	
12月7日(土)	12:00～14:00	ベーコン、短角牛、豚肉の試食
	13:30～14:30	健士健民バターの試食
12月8日(日)	12:00～13:00	ベーコン、短角牛、豚肉の試食

③着ぐるみじゃんけん

「サンディー」、江別市のご当地キャラクター「えべチュン」、「Qoo」(日本コカ・コーラ株式会社)が登場し、子どもたちとのじゃんけん大会を開催しました。

14時からは、後藤江別市長、青柳イオン北海道社長、高島理事長がじゃんけん大会の景品授与式に参加されました。

開催日	イベント	
12月7日(土)	11:00～11:30	着ぐるみじゃんけん(サンディー、えべチュン、Qooが参加)
	14:00～14:30	着ぐるみじゃんけん
	14:00～14:30	じゃんけん大会の景品授与式

④ヒンメリ作り体験

酪農学園大学食物利用学研究室のサポートのもと、「ヒンメリ」を作る体験会を実施しました。
各回12名(合計24名)の予定のところ、30名を超え、幅広い層に体験して頂きました。

開催日	イベント		内容
12月7日(土)	12:00~ 13:00	ヒンメリ作り体験会	入口ホールにヒンメリの飾り付け
	15:00~ 16:00	ヒンメリ作り体験会	

⑤酪農学園大学アンケートの実施

売り場で簡単なアンケート(はい・いいえのシール形式)を実施しました。

質 問 事 項	回 答
過去に酪農学園大学の商品を食べたことがあるか	はい 49(68%) いいえ 23(32%)
酪農学園大学の敷地に入ったことがあるか	はい 53(76%) いいえ 17(24%)
酪農学園大学のHPやSNSを見たことがあるか	はい 38(59%) いいえ 26(41%)
酪農学園大学に入学してみたいか	はい 35(58%) いいえ 25(42%)

⑥UHB 「いっとこ！みんテレ」(12/21(土)10:25~11:30)の番組内で放映しました。

3-5 公益財団法人草野河畔林トラスト財団

包括連携協定先の草野河畔林トラスト財団が管理する「しのつ河畔林」で、本学の学生が、外来種の雑草「オオハングソウ」駆除をボランティアで行いました。駆除ボランティアについては、昨年に続き2年目となり、環境共生学類の1～2年生の学生と、他学類の学生が参加し、作業を行いました。

開催日： 5月11日(土) 9:00～13:00
場 所： しんのつ河畔林(江別市篠津256番地)
参加人数： 34名(学生30名、関係者4名)
駆除数量： 55.3kg

3-6 公益財団法人草野河畔林トラスト財団

包括連携協定先の草野河畔林トラスト財団が実施する「自然セミナー」に講演の依頼がありました。

開催日： 5月24日(金) 9:00～12:00
場 所： しんのつ河畔林(江別市篠津256番地)
参加人数： 一般市民 24名
講師： 農食環境学群 環境共生学類 助手 畑中朋子

3-7 公益財団法人草野河畔林トラスト財団

包括連携協定先の草野河畔林トラスト財団が実施する「教育ツアー」の研修会に講演の依頼がありました。

開催日： 7月13日(土) 14:00～16:00
場 所： 江別市民会館 21号室(江別市高砂町6番地)
対象者： 道内小学生5年～6年生(24名)、高校生ボランティア(6名)、保護者、引率旅行団
講演： 「北海道と奄美大島の自然の違いについて」
講師： 農食環境学群 環境共生学類 教授 吉中厚裕

3-8 江別市 江別市ホルスタインショウ

乳牛の改良と飼養技術の向上を図るとともに、将来の酪農担い手育成と会員相互の親和を深め酪農経営の安定に資することを目的として、「江別市ホルスタインショウ」は開催されています。

江別市との連携協定に基づき、「江別市ホルスタインショウ」の実行委員会として参加し、本学から学長賞の贈呈を行いました。

開催日： 7月14日(日)
場 所： 江別市農村広場(江別市西野幌944番地)

3-9 公益財団法人草野河畔林トラスト財団

包括連携協定先の草野河畔林トラスト財団が実施する「自然セミナー」に講演の依頼がありました。

開催日： 8月3日(土) 9:00～13:00
場 所： しんのつ河畔林・河畔林文庫(江別市篠津256番地)
対象者： 江別市内小学生1年～6年生とその保護者(15組募集) ※前年度7組16名参加
講演： 河畔林に生息する昆虫等の説明及び標本づくりの指導
講師： 農食環境学群 環境共生学類 講師 松林圭

3-10 動物愛護フェスティバル in えべつ2024

江別市小動物開業獣医師会が、動物愛護の啓蒙、適正な動物飼育の普及と市民活動への貢献を目的として、2006年から開催されています。2023年度から、動物愛護フェスティバル実行委員会が主催となり、石狩振興局・江別市が共催、江別市教育委員会・北海道獣医師会・さっぽろ獣医師会が後援となり、開催しています。

2024年のテーマは、「新しい生活の形～アニマルシェルターは憩いの場～」として、4月に本学のキャンパス内に開所した北海道立動物愛護センターの初出展や、飼い主のいない保護犬猫の譲渡会・里親募集、ペットの防災対策展示、移動診療車の出展、「保護犬との暮らし方」の講演が行われ、取り組みをPRしました。

また、今年はとわの森三愛高校野外運動用地(道立図書館前広場)にて、一般社団法人えべつ観光協会主催(本学協力)の「えべつマルシェ」が同時開催され、ペットとともに楽しめる大型イベントとなりました。

開催日： 9月22日(日)
来場者数： 約5,000人
出展： 21ブース

3-11 江別市 えべつ健康フェスタ2024

市民の健康寿命を延ばし、だれもが安心して暮らせるまちを目指すことを「江別市健康都市宣言」として掲げている江別市は、健康を保持・増進するためには、市民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち行動することが大切と考え、えべつ健康フェスタを開催し、市民の健康づくりのきっかけとなる啓発を目的として、体験型イベントを開催しています。江別市との連携協定に基づく取組みとして、参加しています。

開催日： 9月28日(土) 12時～16時
場所： 野幌公民館(江別市野幌町13-6)
来場者数： 302名
出展： 骨密度測定・栄養相談
講師： 農食環境学群 食と健康学類 教授 山口太一
農食環境学群 食と健康学類 講師 柴田啓介
農食環境学群 食と健康学類 助手 酒谷美佳子
農食環境学群 食と健康学類 助手 芝田志織
農食環境学群 食と健康学類 助手 宮沢梨花
大学院生 5名

3-12 北海道ワンヘルスフェア2024

「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い」をテーマに、「北海道ワンヘルスフェア2024」が開催されました。本イベントは、ワンヘルスの考え方を北海道民に周知すること、獣医師の職域偏在の解消を目的として、今年はじめて開催されました。本学は、ワンヘルスの北海道モデル構築に向けてコンテンツを準備し、出展しました。

開催日： 10月18日(金)～20日(日)
場所： アクセスサッポロ(札幌市白石区流通センター4丁目)
主催： 北海道ワンヘルスフェア実行委員会
(公益財団法人北海道獣医師会、一般財団法人札幌産業流通振興協会などで構成)
来場者： 18日(金) 2,208名
19日(土) 2,641名
20日(日) 2,342名

No	講 座 名	講 師
1	牛の妊娠と分娩、および牛から牛乳が作られるしくみ	獣医学類 助教 杉浦智親・学生
2	乳の衛生	獣医学類 教授 蒔田浩平・学生
3	植物が土の微生物から養分を吸うしくみ	循環農学類 教授 小八重善裕・学生
4	土について	循環農学類 教授 澤本卓治
5	薬剤耐性菌を知り、対策を考えよう！	獣医学類 教授 臼井優
6	バクテリアが媒介する寄生虫・原虫病を知ろう！	獣医学類 講師 石崎隆弘
7	「野生動物の方獣医学」のリアル ～寄生虫から世界を眺める～	獣医学類 教授 浅川満彦

3-13 浜頓別町

浜頓別町で地球温暖化対策に関する講演会の開催が企画され、本学との連携協定に基づき、講演の依頼がありました。

開催日： 10月26日(土) 13時30分～
 場所： 北海道枝幸郡浜頓別町中央北2番地
 参加者： 一般町民 70名対象
 講演： 環境と共生する未来の創り方「地球温暖化の現状とリスク、そしてGXへ」
 講師： 農食環境学群 環境共生学類 教授 吉田磨

3-14 Fビレッジと愉快的仲間たち

北海道ボールパークFビレッジに関わる各団体・企業等と相互交流することにより、北広島市やその周辺地域のさらなる発展を目的として、ワークショップが開催されました。

開催日： 10月27日(日) 10:00～15:00
 場所： JR北広島駅東口、Fビレッジ 他
 協賛： 株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメント、株式会社commons fun
 内容： JR北広島駅からFビレッジまでの各スポットで以下のハロウィンイベントを実施
 ①ハイタッチイベント(日本ハムファイターズのマスコット、ファイターズガール参加)
 ②歩きながらゴミ拾いするクリーンウォーク
 ③仮装大会
 ④KUBOTAアグリフロントでの子ども食堂
 参加： 獣医保健看護学類 教授 川添敏弘と学生参加
 獣医保健看護学類 教授 郡山尚紀と学生参加
 循環農学類 教授 森志郎 KUBOTAアグリフロントの子ども食堂へ野菜提供

3-15 江別市 2024アグリビジネス創出フェア in Hokkaido

江別市との連携協定に基づく取組みで、「食のまち江別」における取組の紹介を目的としており、本学と江別市以外に、北海道情報大学、食品加工研究センターの4者が、「食」をテーマに連携して活動している取組みを紹介しました。

開催日： 11月8日(金)、9日(土) 10:00～16:00
 場所： サッポロファクトリー(札幌市中央区北2条東4丁目)
 アトリウム会場・ファクトリールーム会場
 出展： 道内の食品企業と協力して開発してきたさまざまな商品や、
 現在、学生とともに開発を支援している取組みの紹介
 講師： 農食環境学群 食と健康学類 講師 小泉次郎

3-16 北海道酪農技術セミナー2024

酪農現場で活躍されている先生方から、現場で役立つ最新の酪農技術を幅広く学ぶとともに、参加するさまざまな職種の人達と意見交換することを目的とした北米タイプのセミナーです。今年度から、セミナーの申込みから、当日来場者の受付まで、本学が事務局として活動しました。

開催日： 11月12日(火)、13日(水)
 場所： 札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
 大ホール
 協賛企業： 15 社
 一般協賛： 1 社
 出展企業： 34 社
 参加者： 526 名 ※関係者含む

3-17 株式会社クボタ

株式会社クボタは、北海道ボールパークFビレッジ(北広島市)の農業学習施設「KUBOTA AGRIFRONT」で、“食と農業”の未来を志向する仲間づくりの場として、農業機械展示や様々なワークショップを開催し、“食と農業”を楽しくおいしく学ぶ機会の提供をしています。本学とは、産学連携を通して、相互の有する資源・機能を効果的に活用することにより、学術の振興及び地域経済の発展並びに地域社会の活性化を目的として出張ワークショップはじめ、各種の活動をしました。

開催日	出張ワークショップ	講 師
4月13日	酪農と牛乳のミリオク	循環農学類 教授 泉賢一 食と健康学類 准教授 杉村留美子
6月22日	おいしく学ぶ「ジビエ」	環境共生学類 准教授 伊吾田宏正 狩猟研究会の学生
9月14日	手作りバターで楽しむじゃがバター試食体験 ～乳製品と畑の魅力を知ろう～	食と健康学類 准教授 柘原孝志 循環農学類 教授 義平大樹
2月23日	食品科学から学ぶ「チョコレートのおいしさのヒミツ」	食と健康学類 講師 小泉次郎
9月6日～16日	クボタAGRI WEEKに出展	
9月7日、8日 14日～16日	ふれあい動物園 羊の展示	FEDREC、中小家畜研究会
9月14日、15日	風と大地のマルシェ 乳製品・野菜販売	地域連携課・とわの森三愛高等学校
3月28日	クボタアグリキッズサミット2025	小学5、6年生34名参加
13時40分	大学紹介	食と健康学類 教授 上野敬司
13時50分	「草から乳や肉を生産する牛の凄さ」 搾りたての牛乳の試飲	循環農学類 講師 土井和也
14時40分	繋ぎ飼いの牛舎、哺育牛舎、えさの発酵、 フリーストール牛舎、搾乳見学	FEDREC、農事課



3-18 江別市 令和6年度 江別未来づくり学生コンペティション

江別市が抱える少子高齢・人口減少が進む課題に対し、住みやすく、魅力的なまちであり続けるために、「えべつ未来づくりビジョン(第7次江別市総合計画)」が策定されており、これに基づき、江別市の課題解決、将来都市像を実現するための政策アイデアを学生向けに募集し、発表してもらう取り組みで、多くの学生に参加して頂くことができました。

開催日： 2月14日(金) 13:00～16:00
 場所： 酪農学園大学 中央館 1 階 学生ホール
 主催： えべつ未来づくり学生コンペティション実行委員会
 参加者： 江別市、市内4大学、江別商工会議所、北海道中小企業家同友会札幌支部江別地区会
 審査員： 江別市長、市内4大学学長、市内事業者

【発表チーム】

提案1	「有機野菜で食育～江別の野菜で農業を学ぼう～」	酪農学園大学 武原 りんかさん
提案2	「大学と地域の関わり方を模索する」	酪農学園大学 レンズ越しのあなたの景色製作委員会
提案3	「江別市の新卒就職人数を増やし、人手不足と人材不足を減らそう」	札幌学院大学 さくしょう
提案4	「江別文化フェス」	酪農学園大学 進藤 夢恭さん
提案5	「江別市のゼロカーボンに向けた市民の意識と行動」	酪農学園大学 竹家 周平さん
提案6	「バーチャル江別計画」	北翔大学 北翔ガウシアンズプラッティング
提案7	「みんなで作る！江別市昆虫図鑑」	酪農学園大学 昆虫生態学研究室
提案8	「江別に学びの新拠点を」	北海道情報大学 藤本ゼミ

4. ミルク産業活性化推進事業

4-1 普及啓発活動

牛乳乳製品の普及啓発を目的として、各種イベントを通じ、牛乳乳製品を販売しました。牛乳乳製品の魅力を伝えながら、食の大切さや生産にける思いなどを発見してもらい、食生活への普及に取り組んでいます。

開催日	イベント	場所
6月1日、2日	「世界牛乳の日」イベント →牛乳の飲み比べ、牛乳クイズ	EBRI(江別市)
6月22日、23日	旭川ガス株式会社「ガス展」 →乳製品販売	旭川ガス株式会社江別支社(江別市)
8月31日	大麻東町商店街あおぞら市	大麻東町商店街(江別市)
9月4日	2020年栄養管理士コース卒業生の勤務先で 乳製品の販売	暢寿園(千歳市)
9月7日	ALL HOKKAIDO 食の学校祭 主催:株式会社150Fプランニング	サッポロさとらんど
9月14日、15日	AGRI WEEK IN F-VILLAGEでの乳製品販売	F-VILLAGE(北広島市)
10月18日～20日	北海道ワンヘルスフェア →会場にて牛乳orアイスクリームの配布	アクセスサッポロ(札幌市白石区流通センター)
12月6日～8日	「酪農学園フェア」&「えべつ産品フェア」	イオン江別店(江別市)
1月18日、19日	ミルク&ナチュラルチーズフェア 主催:北海道牛乳普及協会	丸井今井札幌本店 9F 催事場
3月1日、2日	ファーマーズ&キッズフェスタ2025にて 牛乳の試飲と皆川牧場チーズの販売	代々木公園イベント広場

常設販売	店舗名	場所
2025年1月～	Milk Stand 北海道興農社 取扱:健土健民牛乳	新千歳空港ターミナルビル2F
2025年1月～	Wine&Cheese北海道興農社 取扱:健土健民バター、クリームチーズ、 カマンベールチーズ	新千歳空港ターミナルビル2F

5. 協定機関以外との連携

5. 協定機関以外との連携

大学と地域社会を繋ぐ開かれた窓口として、社会的要請に応えることを目的として、各種ご相談・ご依頼に対応しています。

5-1 共進会

ホルスタイン種牛の改良増殖をはかり、相互の親睦・技術の向上と酪農経営の安定を目指し、毎年開催されます。本学は、各催事に賞を寄贈しています。

地区	共進会名	協賛内容	開催日	
北海道	北海道B＆Wショウ	出陳牛名簿広告料 副賞：4セット	5月25日-26日	
		北海道ホルスタインナショナルショウ 副賞：4セット	9月28日-29日	
	石狩	石狩スプリングショウ	協賛金	5月18日
		江別市ホルスタインショウ	学長賞レプリカカップ ※地域総合交流事業より支出	7月14日
		石狩・空知ホルスタイン共進会	副賞：2セット	8月23日
	後志	後志B＆Wショウ	副賞：2セット	4月23日
	日高	日胆畜産共進会	副賞：2セット	8月22日
	渡島	道南畜産共進会	副賞：2セット	8月22日
	上川	上川管内総合家畜共進会	副賞：2セット	8月10日
	留萌	道北B＆Wショウ	副賞：2セット	5月13日
	宗谷			
	オホーツク	北見管内総合家畜共進会	副賞：2セット	8月24日
		西紋B＆Wショー	協賛金	4月19日
	十勝	十勝B＆Wショウ	副賞：2セット	5月17日
		十勝総合畜産共進会	副賞：2セット	8月27日
	釧路	釧路ホルスタイン共進会	副賞：2セット	7月5日
	根室	根室市ホルスタイン共進会	副賞：2セット	6月10日
都府県				
	岩手県	陸中ホルスタインB＆Wショー	副賞：2セット 4月6日	
		岩手県沿岸B＆Wショウ	副賞：2セット 4月27日	
		洋野・新岩手ホルスタインショー	副賞：2セット 9月14日	
		計	19件	

※副賞内容：ショーマスター1本・ブラックマジック1本

5-2 旭川ガス

旭川近郊と江別市で都市ガスを供給しており、利用者向けに月刊誌を発行しております。
本学は、食と健康学類 管理栄養士コースの学生に協力を頂き、ガスを使った料理レシピの提供をしています。

2025年 2月号



2025年 3月号



2025年 4月号



5-3 岩見沢市立豊中学校2年生(7名)の見学

(1)訪問日: 10月10日(木) 9:30~12:00

(2)依頼内容: 獣医師体験、施設見学、大学の学びと中学校の学びの共通点や違いの説明

今回、参加される生徒さんは、

- ・動物が好きな人が多い
 - ・動物看護にかかわる仕事につきたい
 - ・獣医に関わる仕事がしたい
- という生徒さんたちでした。

(3)見学内容

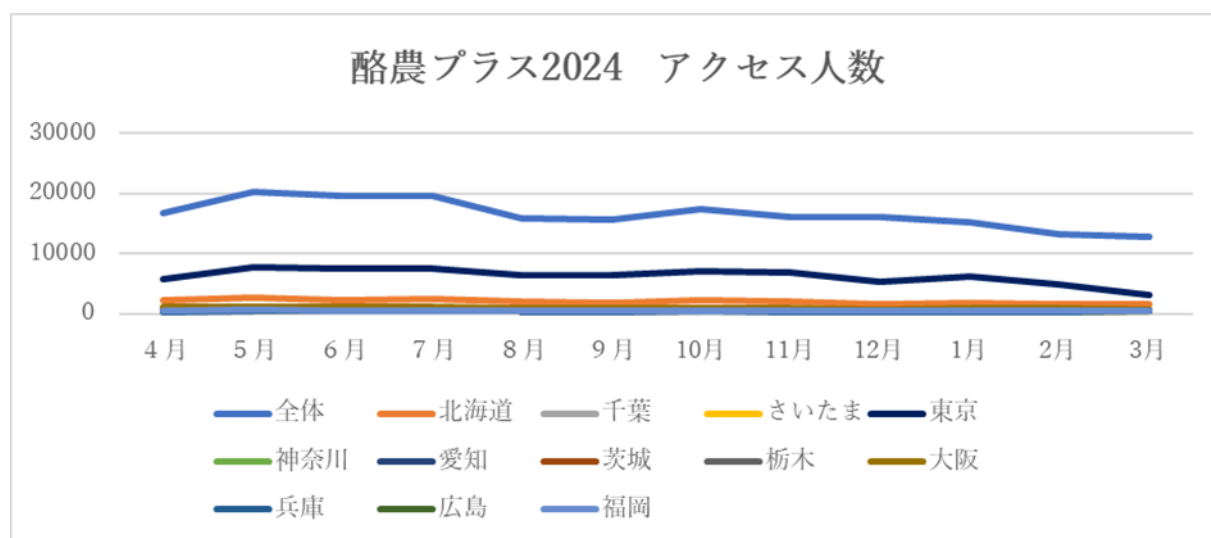
時刻	場所	内容	講 師
9:30	スキルスラボ棟	本学の紹介	獣医学類 准教授 華園 究
10:00	スキルスラボ棟	体験メニュー	
	スキルスラボ棟	(1)超音波検査機を使った検査のやり方体験	獣医学類 准教授 華園 究
	スキルスラボ棟	(2)犬のマネキンを使った動物の保定トレーニング	獣医学類 准教授 華園 究
	スキルスラボ棟	(3)スキルスラボ棟 館内のご紹介	獣医学類 准教授 華園 究
	移動	動物病院へ徒歩で移動	
11:00	附属動物医療センター	館内案内	動物医療センター看護スタッフ
	附属動物医療センター	カンファレンスルームにて談話	獣医学類 准教授 華園 究
12:00	大学生協	食事 ※酪農学園アイスクリームを提供	

6. 酪農PLUS⁺

6-1.酪農 PLUS+ アクセス状況

※GoogleAnalyticsではすべてのユーザーの属性、環境などを判別することができないため、各項目の 合計値は総アクセス数とは一致しない。

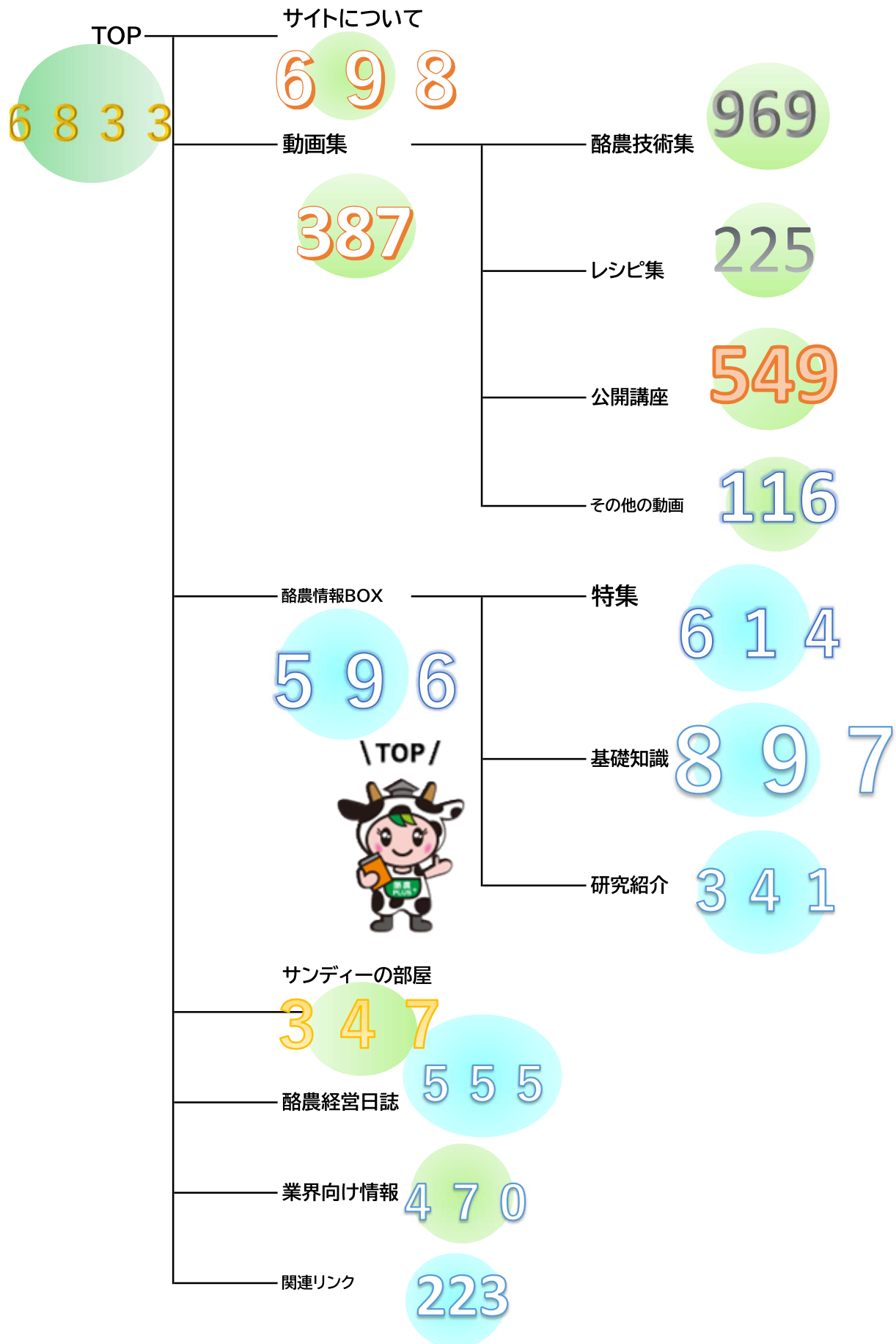
「2024年度大動物継続教育合同セミナー」のアクセス数が多くなりました。表示回数が1日715回。閲覧したユーザー数は、1日510名です。



アクセス状況

- 総アクセス数 199,150人(前年度209,336人/前年比－10,186人)
- 日最高アクセス数 510人(2024年度大動物継続教育合同セミナー)
- 地域別 TOP10 ※平均の人数です。各月の人数の総計を12(月)で割っています。

	都道府県名	ユーザー数		市区町村別	ユーザー数
1	東京都	7456	1	不 明	4496
2	北海道	2393	2	札幌市	1020
3	大 阪	1135	3	大阪市	758
4	神奈川	797	4	新宿区	403
5	福 岡	560	5	福岡市	328
6	愛 知	555	6	横浜市	301
7	千 葉	522	7	千代田区	283
8	兵 庫	367	8	港 区	156
9	茨 城	180	9	名古屋市	237
10	栃 木	160	10	渋谷区	232



Ⅲ. 国際交流課

1. 學術國際交流・協力

1-1 学術交流協定

2025年4月1日現在

23カ国44機関(大学:36校(20カ国) 研究施設等:8機関(8カ国))

	国名	機関名	締結年月日
1	カナダ	アルバータ大学	1985.8.1
2	中国	内蒙古農業大学	1988.8.9 (2002.3.6再締結)
3	アメリカ	オハイオ州立大学 獣医学部とは1988.11.17に締結 食品・農業・環境科学部とは1998.12.17に締結	1988.11.17
4	アメリカ	コーネル大学 畜産学部	1991.6.3
5	ポーランド	ワルシャワ生命科学大学(旧ワルシャワ農業大学)	1994.5.19
6	韓国	国立韓京大学校(旧安城産業大学)	1994.10.14 (2003.7.29再締結)
7	デンマーク	国立畜産研究所	1995.2.15
8	中国	新疆農業大学	1997.7.31
9	台湾	国立嘉義大学	1997.11.30 (2001.8.9再締結)
10	カナダ	オールズカレッジ	1998.5.7 (2003.6.25再締結)
11	台湾	国立屏東科技大学	1998.8.31
12	ドイツ	ハノーバー獣医科大学	2001.1.22 (2007.9.4再締結)
13	フィリピン	東フィリピン大学(獣医学部とは2002.2.4に締結)	2002.2.4 (全学2015.3.2)
14	中国	内蒙古民族大学	2002.2.16
15	アメリカ	フィンドレー大学	2005.4.11
16	カナダ	サスカチュワン大学	2006.7.24 (2022.12.9再締結)
17	台湾	国立中興大学	2007.8.15 (2017.10.31再締結)
18	インド	サムヒギンボトム農業科学技術大学 (旧アラハバード農業大学)	2007.10.25
19	モンゴル	モンゴル生命科学大学(旧モンゴル国立農業大学) (獣医学研究所とは2017.8.21に締結)	2009.3.23
20	カザフスタン	国立バイオテクノロジーセンター	2009.12.25
21	カザフスタン	アルファラビカザフ国立大学	2009.12.26
22	パラグアイ	アスンシオンカトリック大学	2011.2.22
23	マレーシア	サバ大学 (熱帯生物保全研究所とは2011.8.24に締結)	2011.8.24 (全学2016.4.13/ 2021.9.28再締結)
24	中国	陝西省動物研究所	2012.1.20
25	ケニア	国際家畜研究所	2012.2.17
26	モンゴル	フスタイ国立公園	2012.8.18 (2016.8.10再締結)
27	コートジボワール	スイス科学研究所	2013.4.18
28	タイ	マヒドン大学 熱帯医学部とは2013.9.23に締結 獣医学部とは2015.11.25に締結	2013.9.23

	国名	機関名	締結年月日
29	ベトナム	ハノイ公衆衛生大学	2013.9.27
30	ミャンマー	獣医科学大学	2013.10.7
31	タイ	チュラーロンコーン大学	2014.2.28
32	タイ	カセサート大学	2014.3.3
33	ロシア	極東農業大学	2014.6.16
34	ベトナム	ベトナム国立農業大学	2014.7.29
35	イギリス	グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所	2015.2.24
36	タイ	保健省医科学局	2015.3.25
37	タイ	コンケン大学	2015.4.28
38	タイ	タマサート大学	2016.3.22
39	ベトナム	国立獣医学研究所	2019.1.28 (2024.3.4再締結)
40	アメリカ	パデュー大学	NEW 2019.1.29 (2024.6.24再締結)
41	ウガンダ	マケレレ大学	2019.3.29
42	イタリア	パドヴァ大学	2020.7.23
43	モンゴル	モンゴル国立大学	2021.2.25
44	タイ	プリンス・オブ・ソンクラ大学	NEW 2025.1.14

1-2 学術交流協定の更新、締結

2024年度に協定更新となった機関、新たに学術交流協定を締結した機関は以下の通りです。

※マケレレ大学とは協定更新に向けて調整中

【協定更新】

国名	協定機関名	次回更新
アメリカ	パデュー大学	2029年6月



岩野学長による協定書署名、短期研修生との記念写真

【協定締結】

国名	協定機関名	次回更新
タイ	プリンス・オブ・ソンクラーク大学	2030年1月



岩野学長による協定書署名、Dr. Supaporn(本学卒業生)との記念写真

1-3 フィンドレー大学ベケット奨学金派遣プログラム20周年記念 Re-unionの実施

アメリカ・フィンドレー大学からシニアダイレクターのクリス・コールドウェル氏、コーディネーターのエリザベス・ピノ氏が来学し、岩野学長を表敬訪問、フィンドレー大学とのプログラムについての協議を行いました。

またお二方を交えてベケット奨学金派遣プログラムの20周年を記念し、Reunionイベントを学内で実施しました。2005年最初のベケット奨学生からのメッセージ、同プログラムで留学した学生や短期プログラムで留学した学生、ゆかりのある教職員が集い思い出を分かち合いました。フィンドレー大学とのこれまでの交流に感謝しながら、あたたかい交わりの時間を持つことができました。

Re-union(交流会の様子)



1-4 学生の受入れ

2024年度は学術交流協定機関との学生交流プログラムが全面的に再開し、協定機関からの学生を34名受け入れ、学内外で研修を行いました。

国	所属大学	人数	プログラム名	期間		
マレーシア	サバ大学 (2023～2024年度)	5	短期研修 (JASSO「協定受入」)	2024/3/15	～	2024/9/20
アメリカ	フィンドレー大学	4	Animal Science Study Tour	2024/5/17	～	2024/6/7
アメリカ	パデュー大学	3	Student Externship Program	2024/6/16	～	2024/6/30
台湾	国立中興大学	2	生産動物医療分野 研修	2024/7/1	～	2024/8/7
タイ	チュラーロンコーン大学	1	短期研修	2024/10/15	～	2025/3/30
タイ	カセサート大学	5	短期研修 (JASSO「協定受入」)	2024/11/11	～	2024/11/22
タイ	カセサート大学	5	単位互換プログラム (JASSO「協定受入」)	2025/1/6	～	2025/3/28
タイ	コンケン大学	4	Coop-vet Program(短期研修)	2025/1/7	～	2025/3/14
マレーシア	サバ大学 (2024～2025年度)	5	短期研修 (JASSO「協定受入」)	2025/3/17	～	2025/9/30
合計		34				



学生交流プログラム等での受け入れの様子

【関連記事】

・アメリカ・パデュー大学受け入れ



学長表敬



閉講式

・マレーシア・サバ大学受け入れ



報告会
(2023～2024年度受入)

・台湾・国立中興大学受け入れ



報告会

・タイ・コンケン大学受け入れ



報告会

・タイ・カセサート大学受け入れ



単位互換プログラム

2. 外国人研究員等の受入

2-1 訪問者の受入れ

2024年度は、ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証取得のための取り組みを継続し査察者を受け入れました。その他学術交流協定機関、また共同研究やプロジェクトなどの関係機関、また在日公館等から、研究者・訪問者を64名受け入れました。

国	所属機関	人数	内容	期間	
フィリピン	San Juan市役所獣医局獣医師	1	日本獣医師会研修事業	2024/4/23	～ 2025/3/20
カナダ	アルバータ州肉牛農家	2	アルバータ協会訪問 学内視察	2024/4/26	～ 2024/4/26
モンゴル	生命科学大学	2	共同研究	2024/6/11	～ 2024/7/1
中国	農業者集団	8	学内見学	2024/6/25	～ 2024/6/25
オランダ、デンマーク	EAEVE Experts	2	EAEVE再審査	2024/7/21	～ 2024/7/25
マレーシア	テナガナショナル大学	5	共同研究打ち合わせ、表敬	2024/8/20	～ 2024/8/23
台湾	弘光科技大学	4	表敬、特別セミナー、協定打ち合わせ	2024/9/4	～ 2024/9/7
台湾	国立嘉義大学	1	表敬、学内視察(学生含む)	2024/9/5	～ 2024/9/5
タイ	マハサラカーム大学	5	表敬、打ち合わせ	2024/9/20	～ 2024/9/20
アメリカ	フィンドレー大学	2	表敬、 プログラム記念行事	2024/9/26	～ 2024/9/28
デンマーク	在日デンマーク大使館	2	表敬ほか	2024/9/27	～ 2024/9/27
タンザニア	県医務官・獣医官	6	SATREPS プロジェクト	2024/10/8	～ 2024/10/14
タンザニア	研究代表者・分担者	5	SATREPS プロジェクト	2024/10/11	～ 2024/10/14
タイ	カセサート大学	2	研修(獣医師、看護師)	2024/10/21	～ 2024/11/17
韓国	国立韓京大学	5	意見交換	2024/10/23	～ 2024/10/23
カザフスタン	アルファラビカザフ国立大学	3	研究打ち合わせ	2024/12/9	～ 2024/12/9
韓国	国立農水産大学	2	学生プログラム、協定打ち合わせ	2024/12/18	～ 2024/12/18
タイ	プリンス・オブ・ソンクラーク大学	1	表敬、協定書署名	2024/12/23	～ 2024/12/23
ニュージーランド	ニュージーランド大使館	4	表敬、牛舎見学	2025/2/6	～ 2025/2/6
カナダ	カナダ大使館 アルバータ州政府駐日代表他	2	表敬、 記念事業打ち合わせ	2025/2/18	～ 2025/2/18
合計		64			



(左から)デンマーク大使館、ニュージーランド大使館、カナダ大使館からのご訪問

【関連記事】

・マレーシア・テナガナショナル大学



・在日デンマーク大使館



・在日ニュージーランド大使館



・カナダ大使館(アルバータ協会ホームページ)



3. 学生の海外派遣

3-1 学生の派遣

2024年度は受入れ同様、協定機関との学生交流プログラムを中心に、学生の海外派遣・留学が全面的に再開しました。世界的な情勢不安や長引く円安の影響も大きく、募集定員に満たないプログラムもありましたが、協定機関に43名の学生を派遣しました。

学術交流協定機関への学生派遣

国	派遣大学	留学形態	人数	期間		
アメリカ	パデュー大学	パデュー大学・酪農学園大学交換研修プログラム	3	2024/8/3	～	2024/8/18
	フィンドレー大学	ベーシック・アニマルハンドリングプログラム	5	2025/3/18	～	2025/4/10
カナダ	アルバータ大学	夏季研修プログラム	1	2024/9/2	～	2024/9/29
	アルバータ大学 他	海外自然環境実習	2	2025/2/14	～	2025/2/27
	アルバータ大学	春季研修プログラム	1	2025/2/24	～	2025/3/22
タイ	カセサート大学	獣医学部単位互換プログラム	2	2024/9/27	～	2024/12/22
台湾	屏東科技大学	インターンシップ	1	2024/12/13	～	2025/2/7
中国	内蒙古民族大学	海外自然環境実習	3	2024/10/7	～	2024/10/14
マレーシア	サバ大学 他	短期研修(海外自然環境実習含む)	1	2025/2/19	～	2025/3/26
	サバ大学 他	海外自然環境実習	14	2025/2/21	～	2025/3/8
モンゴル	フスタイ国立公園	調査	4	2024/5/1	～	2024/5/12
	フスタイ国立公園	調査	1	2024/8/3	～	2024/8/22
	フスタイ国立公園	調査	5	2024/8/11	～	2024/8/22
合計			43			

3-2 学生留学報告書(国際交流課ホームページ掲載分)

・アメリカ・フィンドレー大学 ベーシック・アニマルハンドリングプログラム



・カナダ・アルバータ大学夏季・春季研修



・海外農業研修サポートプログラム



・タイ・カセサート大学単位互換プログラム



・海外農業研修(国際農業者交流協会派遣)※卒業生を含む

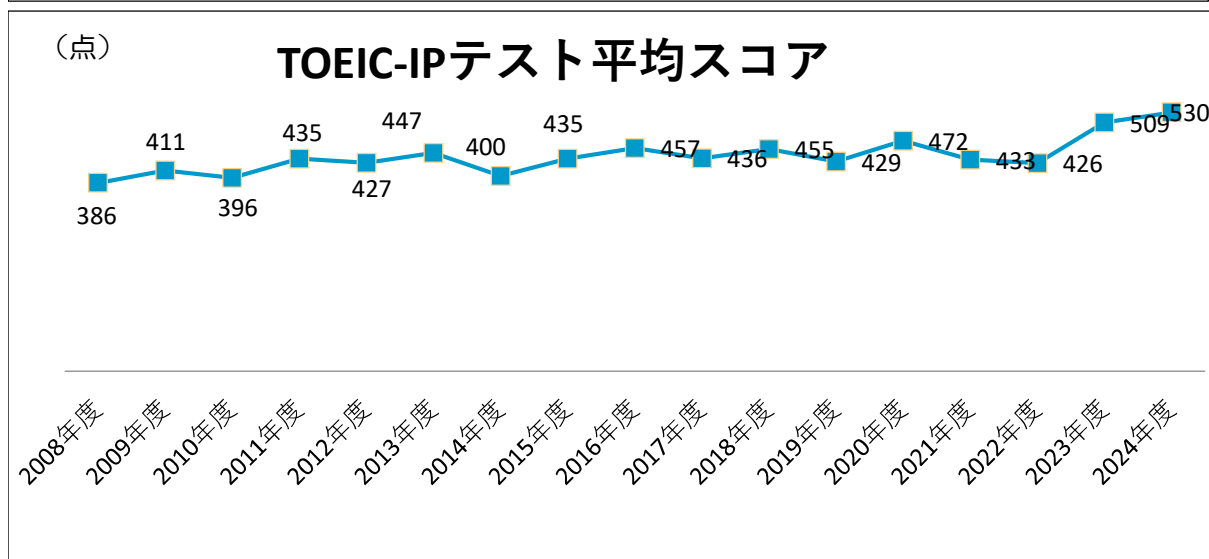
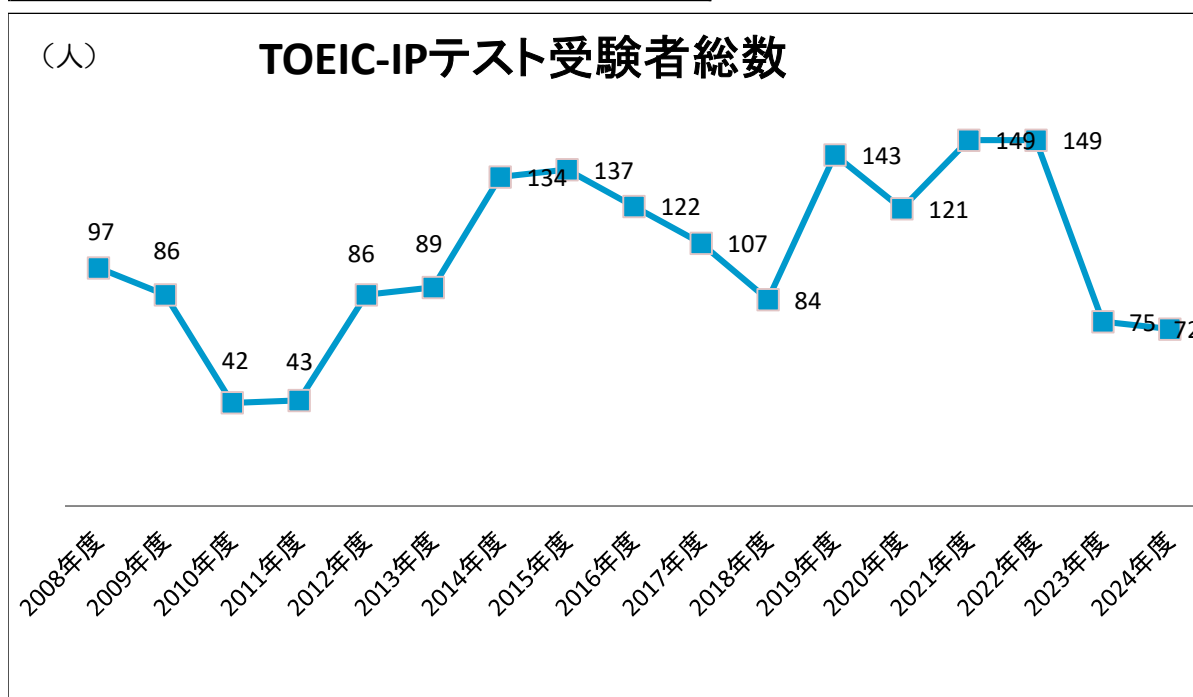


3-3 TOEIC-IP試験

2024年度は年間の試験実施回数を精査し、会場試験を3回(4月、7月、10月)、TOEIC-IPオンライン試験を2回(1月、2月)、年間合計5回を実施しました。

国際交流課の留学プログラムについては留学前後の受験を必須とし、留学前後のスコア推移を比較しホームページに記載しています。

2024年度	試験月	受験者数	最低	最高	平均
第87回	4月	10	210	745	464
第88回	7月	13	280	820	555
第89回	10月	15	260	630	463
第90回	1月(OL)	14	255	820	531
第91回	2月(OL)	20	275	885	597
集計(人数・スコア)		72	210	885	530



【留学前後スコア推移】※2024年度実施掲載分
・カナダ・アルバータ大学夏季・春季プログラム



・アメリカ・フィンドレー大学ベーシック・アニマルハンドリングプログラム



・タイ・カセサート大学単位互換プログラム



4. 外国人留学生

4-1 外国人留学生

2024年度基準日における留学生(在留資格「留学」)人数は以下の通りです。

(5月1日基準)

分類	人数	出身国
学類生	5	韓国・中国
大学院生【修士】	4	中国・マラウィ・マレーシア
大学院生【博士】	6	タイ・インドネシア・中国・フィジー・モンゴル
研究生	2	中国
合計	17	

(10月1日基準)※ただし特別科目等履修生受入は1月～3月

分類	人数	出身国
学類生	5	韓国・中国
大学院生【修士】	3	中国・マラウィ・マレーシア
大学院生【博士】	7	タイ・中国・インドネシア・フィジー・モンゴル
研究生	3	中国・モンゴル
その他	5	タイ(※特別科目等履修生、1月～3月)
合計	23	

・11月22日(金)、留学生と外国人研究員(中国、タイ、モンゴル、エジプト、フィリピン出身)が大森中学校訪問をし、ゲストとして1年生の国際理解学習に参加しました。



・2月8日(土)に2024年度の留学生バスツアーを実施しました。



5. 北海道アルバータ酪農科学技術交流協会

5-1 2024年理事会・定期総会

2024年第52回理事会、同定期総会を7月17日(木)酪農学園大学中央館にて開催しました。
理事会・定期総会後は2023年度カナダ・アルバータ州派遣留学プログラム留学報告会、
2023年度佐藤貢・雪印乳業-酪農学園・アルバータ大学奨学生留学報告会、また同2024年度
奨学金の授与式を行いました。



第52回理事会・定期総会



2023年度奨学生留学報告会、2024年度奨学生奨学金授与式

5-2 2024年度佐藤貢・雪印乳業-酪農学園・アルバータ大学奨学金プログラム

2024年度は以下のプログラムに参加した学生に奨学金を給付しました。

プログラム	奨学金	人数
アルバータ大学夏季研修プログラム	20万円	1名
アルバータ大学春季研修プログラム	20万円	1名
海外農業研修サポートプログラム	20万円	1名

※大学院生留学サポートプログラム(30万円):応募者なし

※高校生留学サポートプログラム(20万円):中止

5-3 アルバータ州肉牛農家Jacob Bueckert氏ご訪問

2024年4月26日、カナダの肉牛農家Jacob Bueckertさんが、酪農学園大学をご訪問くださいました。Bueckertさんは、2022年度・2023年度に、当協会の奨学生として派遣し農業研修プログラムに参加した学生を受け入れてくださった肉牛農家の方です。

2023年度の派遣学生も同行する中、堂地教授の案内で元野幌農場を見学、帰学後は肉牛研究会やキャンパス内の主な施設を見学していただきました。

【関連記事】



5-4 アルバータ州政府からゲストをお迎えしました

2025年2月18日、アルバータ州政府駐日代表のMr. Daylin Breen、アルバータ州政府上席商務官のMs. Mary Beth Takao、カナダ政府札幌通商事務所通商代表の辻尾晋一様をお迎えし、北海道総合政策部国際局国際課国際係長の日比野寛太様、北海道農政部農政課主任の千田真輝様を交え、意見交換の場を持ちました。

2025年はカナダアルバータ州と北海道の姉妹友好提携締結45周年にあたる年であり、その記念事業についても話し合うことができました。

【関連記事】

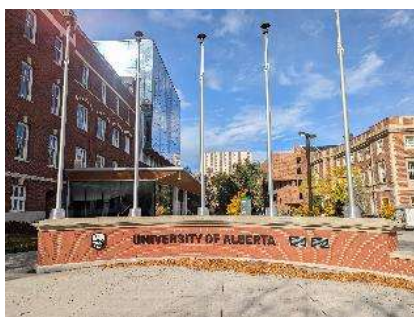


5-5 アルバータ州を訪問しました

2024年10月初旬から中旬にかけて、アルバータ州を訪問しました。

事務局によるアルバータ州訪問はコロナ禍で途絶えていましたが、4年ぶりに訪問することができました。訪問先は、アルバータミルク(アルバータ州の酪農場の管理や牛乳の品質管理などを行う団体)、レイクランドカレッジ(学生の実習新規受け入れについて協議)、WarnerのDriland Feeders (Jacob Bueckert氏の肉牛農場、2022年度・2023年度に学生受入)、Picture ButteのVandendool Farm(Mike Vanden Dool氏の酪農場、2024年度に学生受入)、オールズカレッジ(交流再開に向けた協議)、アルバータ州議会(議長を表敬訪問、農場紹介のお礼)、アルバータ大学(短期留学に毎年学生を派遣、2023年度には学生を長期留学でも受入)などです。

今回の訪問では、今後に向けての動き出しのきっかけを作ることができました。学生たちにより良く、より多くの機会を提供できるよう今度も取り組んでいきます。



(アルバータ大学)



(レイクランドカレッジ)



(学生の研修先農場)

6. その他

6 独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携

6-1 酪農学園大学と独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携協定を締結しました

2024年10月3日、双方の連携による開発途上地域への国際協力、日本国内の社会課題に係る国際協力事業の質の向上及び人材育成、国際貢献、学術研究及び教育の発展に寄与することを目的に、JICAと連携協定を締結しました。

【関連記事】



酪農学園大学と独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携協定を締結しました

6-2 海外協力隊に関する大学連携

2024年4月24日、本学とJICAとが、マレーシア・ボルネオ島に位置する SAFODA(サバ州森林開発公社)キナルート・エコ・フォレストパークに林業・環境保全/環境教育/生態調査にかかる支援のため、2030年3月までの6年間学生等を海外協力隊として派遣する連携覚書を締結いたしました。



大学連携による派遣実績(～2024年度)

派遣年度	派遣国	職種	人数	派遣期間		
2021	ウガンダ	獣医・衛生	1	2021/12/8	～	2023年5月
2021	ウガンダ	家畜飼育	1	2022/1/26	～	2023年3月
2023	ウガンダ(短期派遣)	獣医・衛生/ 畜産・乳製品加工	2	2024/1/31	～	2024/3/15
2024	マレーシア	林業・森林保全	1	2024/11/26	～	2026/11/25

【関連記事】

卒業生の早川史織さんがJICAとの協定締結後、初のマレーシア派遣へ 学長らを表敬訪問



6-3 研修員受け入れ

2024年度は以下のJICA研修受け入れ(本学契約4件、その他1件)を実施しました。

研修員受け入れ

出身国	種別	受入学類	教員	人数	期間		
3か国	JICA日系社会研修	環境	吉村	3	2024/5/20	～	2024/8/8
9か国	JICA課題別研修	環境	吉村	12	2024/5/29	～	2024/7/10
8か国	JICA課題別研修	環境	吉村	10	2024/9/26	～	2024/11/7
3か国	JICA課題別研修 (オンライン)	環境	吉村	7	2025/1/14	～	2025/2/6
5か国	JICA研修員 (十勝インターナショナル協会)	獣医	蒔田 (講師)	7	2024/10/22	～	2024/10/24
合計				39			

6-4 青年海外協力隊派遣実績(2024年12月現在)

学類	獣医・衛生	家畜飼育	環境教育	野菜栽培	畜産・乳製品加工	コミュニティ開発	理科教育	飼料作物	農業協同組合	食用作物・稲作栽培	食品加工	農業機械	栄養士	きのこ栽培	土壌肥料	家政・生活改善	公衆衛生	感染症・エイズ対策	林業・森林保全	統計	花き栽培	病虫害対策	マーケティング	青少年活動	視聴覚教育	幼児教育	生態調査	動物学	ソーシャルワーカー	その他	合計
循環農学類 (旧農農学科、農業経済学科、短大含む)		63	1	13	6	5	5	6	5	4	1	3		2	1	1	1			1	1	1			1		1		1	2	125
食と健康学類 (旧食品科学科、食品流通学科含む)		2			4		2				3	3					1														15
環境共生学類 (旧経営環境学科、地域環境学科、生命環境学科含む)			17			4	3										1									1				1	27
獣医学類 (獣医学科含む)	63	4	1		3	2	1										1						1					1			77
獣医保健看護学類		1	1																												2
大学院	34	4	2												1	1			1				1								44
合 計	97	74	22	13	13	11	11	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	290
うち2024年12月現在派遣中人数	1		4	2								1						1											1	10	

6-5 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度

海外留学支援制度は、諸外国の高等教育機関との学生交流に関する協定等に基づき行われるプログラムに参加する学生に対して、留学に係る費用の一部を日本学生支援機構が奨学金として支援する制度です。

2024年度は派遣4件(継続)、受入2件(継続1、新規1)のプログラム(採択額計：8,760,000円)が採択され、1名の学生派遣、15名の学生受入を実施しました。

派遣					
	プログラム名	採択額	採択人数	実施額	派遣人数
2024 新規					
	新規合計	0	0	0	0
2024 継続	地球上で最も生物多様性の高い地域において野生生物保全手法を学ぶマレーシア・サバ大学との相互協力研修	980,000	7	180,000	1
	SDGsを自分ごととする生物多様性保全のための情報解析技術研修	420,000	2	0	0
	SDGsの達成を目指したりモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣)	360,000	2	0	0
	沙漠化防止のための内蒙古民族大学における自然環境保全研修	120,000	1	0	0
	継続合計	1,880,000	12	180,000	1
2024年度派遣計		1,880,000	12	180,000	1

受入					
	プログラム名	採択額	採択人数	実施額	派遣人数
2024 新規	SDGsの達成に向けた生物多様性保全のためのマレーシア・サバ大学と酪農学園大学との相互協力研修(実施中)	4,480,000	8	2,800,000	5
	新規合計	4,480,000	8	2,800,000	5
2024 継続	タイ・カセサート大学獣医学部の単位認定研修プログラム	2,400,000	10	1,600,000	10
	継続合計	2,400,000	10	1,600,000	10
2024年度受入計		6,880,000	18	4,400,000	15